

# 令和元年度 名寄市議会 「市民との意見交換会」実施報告

名寄市議会の活動状況を市民の皆さんにお伝えし、市民や市が抱える課題について意見を交換するため、平成29年度から議会報告会を年2回開催してまいりました。昨年度からは「市民との意見交換会」と名称を改め、議会からの報告を最小限にとどめ、市民の皆さまとの意見交換を重視するよう心掛け開催しています。

今回の意見交換会は、2班体制とし、1月23日、24日の2日間、市内6会場で開催いたしました。開催にあたり、より多くの市民の皆さんにご参加いただくため、『議会だより かわら版』を作成し、公共施設に掲示するとともに、市内報道機関への記事掲載依頼、市議会ホームページによる日程周知、さらには全議員が1人30枚の案内チラシを市民の皆さんに配布し参加を呼びかけました。また開催にあたり町内会長はじめ町内会の役員の方々にも周知にご協力いただきました。改めてご協力いただいたことにお礼申し上げます。

今回の意見交換会には全体で102名の方にご出席をいただきました。ご参加の皆さまからは、名寄振興公社の債権譲渡に端を発した一連の問題に関する内容、並びに名寄社協指定居宅介護支援事業所における不正受給問題に関し、ご意見やご質問を数多くいただきました。また王子マテリア株式会社名寄工場の生産品集約に関するご意見や行政に対する要望等もいただきました。改めて、ご参加いただき、多くのご意見ご示唆をいただきましたことに対し感謝とお礼を申し上げますとともに、真摯に受け止めさせていただき、今後の議会運営に反映させてまいりたいと考えているところです。

お寄せいただいたご意見やご要望などに対しましては、議員間で情報を共有するため、2月25日に全議員参加による実施報告会を行い内容の全体化を図ってきたほか、いただいたご意見や市政に対する要望については、この「実施報告」にて行政への情報提供をさせていただきました。

これからも議会全体が一体感を持ち「市民から信頼される議会づくり」に邁進するとともに、市民の皆さんの期待に応えるべく積極的な活動を行ってまいります。

今後も市議会の動向にご注視いただきますようお願い申し上げますとともに、「市民との意見交換会」等にご参加いただき、ご意見等をお寄せいただければ幸いです。

なお、出されたご意見やご要望については、議会だよりや市議会ホームページなどで市民の皆さんにお知らせいたします。



## 【班編成及び担当会場】

### 《A班》

- 班長 東 千春（議長、市民福祉常任委員会委員）  
班員 倉澤 宏（議会運営委員会副委員長、市民福祉常任委員会委員）  
高野美枝子（市民福祉常任委員会委員長、議会運営委員会委員）  
佐久間 誠（経済建設常任委員会副委員長、議会運営委員会委員）  
山崎真由美（総務文教常任委員会副委員長、議会報特別委員会副委員長）  
黒井 徹（総務文教常任委員会委員、名寄市監査委員）  
遠藤 隆男（総務文教常任委員会委員、議会運営委員会委員）  
富岡 達彦（経済建設常任委員会委員、議会報特別委員会委員）  
今村 芳彦（経済建設常任委員会委員、議会報特別委員会委員）

**担当会場：ふうれん地域交流センター、名寄東小学校、  
駅前交流プラザ「よろーな」**

### 《B班》

- 班長 佐藤 靖（副議長、総務文教常任委員会委員）  
班員 塩田 昌彦（議会運営委員会委員長、経済建設常任委員会委員）  
高橋 伸典（総務文教常任委員会委員長、議会報特別委員会委員）  
山田 典幸（経済建設常任委員会委員長、議会運営委員会委員）  
東川 孝義（市民福祉常任委員会副委員長、議会運営委員会委員）  
川村 幸栄（市民福祉常任委員会委員、議会報特別委員会委員長）  
清水 一夫（総務文教常任委員会委員）  
三浦 勝秀（経済建設常任委員会委員、議会報特別委員会委員）  
五十嵐千絵（市民福祉常任委員会委員、議会報特別委員会委員）

**担当会場：ノースタウンふれあい会館、智恵文多目的研修センター、  
名寄市民文化センター**



## 【意見交換の主な内容】

各会場における意見交換の主な内容は次のとおりです。

### A班－1 ふうれん地域交流センター 参加21人

#### ◆名寄社協指定居宅介護支援事業所の不正受給について

問 社協に関する新聞記事に驚いた。やったことについてしっかり反省するとともに、実態を究明し、公表してもらいたい。市民が負担をしている介護保険であることをしっかり認識し、市としても指導、対応してもらいたい。

答 報道後、ただちに市民福祉常任委員会として市に内容を確認した。不正確認以降は、業務改善されているという報告であったが、現在道や上川総合振興局の協力のもと法令に基づく指導監査による内容精査中である。状況が明確になりしだい市からの情報発信が行われていくこととなる。

問 多くの住民が介護保険料の負担をしている。間違いがあったと謝れば済む問題ではない。そのことも議会として十分理解すべき。

答 利用者に配慮した判断も理解できるが、法令遵守が第一となる。最終的な結果が出た段階での対応をしっかりと求めていく。

意 行政が守らなければならない法令を破ってきたことは許されることではない。利用者へのサービス継続を考えてのこととはいえ、結果として大きな問題となってしまった。法令や社会的ルールを守ることが重要だ。

#### ◆名寄振興公社の問題について

問 誰が何をやったのか不明な部分が多い中での税金投入には問題がある。明確になった上での対応が必要。また、12月議会での附帯決議を市民に公表すべき。新聞報道については過大な部分もあり、市としてしっかり情報を提供すべき。

答 これまで11回の特別委員会を開催し、慎重審議を行ってきている。12月議会で、5,000万円の補正を可決した。冬季のスキー関連の利用が詰まっているなど、営業を継続するため、やむを得ないと判断した。新社長の就任、外部の専門家からの指導も含め、業務のあり方を徹底チェックするとともに、職員の意識改革にも努めながら、改善に向けた努力がされている。3月末の収益をみて今後を判断していくことになるが、公益性、公共性、さらには市からの財政支援なども含めた議論が必要となる。

問 既に冬季間の事業も入っている中では6,055万円の貸し付けや5,000万円の補正も仕方がないと思うが、今後1億円もの赤字が想定されることは問題だ。なにか構造的な課題があるのではないか。また、使途不明金がある中で税金を入れることは認められない。附帯決議に対する市からの反応が何も無いのもおかしい。今後の動きについて議会として厳しくチェックしてほしい。

答 附帯決議は、議会の思いであると同時に市民の思いでもあると認識している。内容に対する強制権はないが、真摯に受け止め対応するよう市に働きかけていく。不明金などについては、参考人招致や関係者からの回答なども得ているが不明な点が多い。事実を明らかにして欲しいという思いは市民の皆さんと同様である。

そこを解明することが今後の課題となる。

**問** 少子高齢化の中で、これだけの財政支援を継続的にしていけるのか。多額に赤字が発生すると見込みが新聞報道されている状況の中、市は公益性を訴えているが騙されているように感じてしまう。施設全体を維持できないのであれば分散して管理することも必要ではないか。

**答** 公認会計士からのアドバイスを受け厳しい見積もりを立てているため赤字の想定が大きくなっている。特別委員会としては、持続可能な施設であるかについて、慎重に議論しているとともに、市の財政支援の上限についても求めている。これまでの会計に改ざんや捏造があったため、基準となる数字をしっかりと出させることから始めなければならない状況である。また、公益性については、優先順位を考え市民ニーズに対応しなければならない。ご意見をいただきながら対応していきたい。

**問** 学校や庁舎の改築も必要な状況であるとともに、町内会の要望もなかなか実現されない中、第3セクターということで市の公金が投入されていく。この状況はいつまで続くのか。

**答** 特別委員会を設置し3月に向けて公社のあり方について審議している。名寄振興公社は北海道の施設も含め、多くの施設の指定管理を受けている。分散型の管理や経営形態、部門別の収支実態の解明も含め、特別委員会での今後の議論になってくる。

**問** 名寄振興公社の監査体制はどうなっていたのか。

**答** 名寄振興公社は株式会社であり、会社法で内部で監査をしなければならないことになっている。議会としてもまとめられた決算書を受け取っていた。監査も整え上げられた関係書類で行われており、細部まで確認できていなかった。

**意** 未来に向けて予算立てをし、経緯を見ながら進めていくことは当然のことだと思う。経営形態の様々な吟味が今後の課題である。捏造に関しては然るべき場で調査してもらい、事実関係がわかった段階で質すべき。一番大切なところをしっかりと示さずうやむやにすべきではない。

**問** 特別委員会を傍聴したが、課題に対して議論が優しすぎると感じた。議決した6項目の附帯決議を市に見極めさせるべき。会派とかは関係なく市民の目線で対応してほしい。

**答** 特別委員会の協議では、ぬるい話をしているわけではない。公社は会社運営の基本的な事務処理が全くできていなかった。会社内の縦割り意識も含め会社の基礎から再生する作業を今やっているところ。また、民間意識を持ち利益を追求する姿勢も重要。現在、会社再生の実績を持つ専門家の指導を受けながら、集客メニューを練り上げている状況である。

**問** この問題が起きるまで振興公社の経営が苦しいという認識はなかったのか。近隣自治体の類似施設も軒並み厳しい状況であり、特に振興公社の場合は立地条件も悪い。そういったことを踏まえた上で、振興公社が黒字だと思っていたのか。

**答** 振興公社に対しては、老朽化に伴う施設改修の時期や合宿や地域の温浴利用などのニーズにあっているのかなどのお話をしてきたが、決算書の改ざんや粉飾には気づけなかったというのが実情である。

**問** 振興公社問題の解決の道筋はどのような流れになるのか。市の改善策が示され、それを議会で審議した上で指定管理料の判断などをしていくのか。新年度予算にもかかわってくる。議会としての判断時期は。

**答** 公認会計士のからの指導を受けるなどの準備段階から今後、具体的な議論に移っていくこととなる。経営や指定管理のあり方なども含め、振興公社のあり方について具体的な議論を進めたいと思っているが、部門ごとの分析もまだ示されていない状況であるため、新年度予算時期に結論は間に合わないことが想定される。

**問** 最初に立てた経営計画については、甘い見込みの内容であったと聞いている。専門家の意見も含め、精査された計画はどのようになっているのか。

**答** 公認会計士の指導を受けて改めて計画が立てられており、過去3年の実績をベースとし、収入の減少を想定したバッドシナリオ、収入を同程度としたグッドシナリオの2パターンの収支計画を基礎数値として議論している。

#### ◆王子マテリア(株)名寄工場の問題について

**問** 王子マテリアに対する署名活動の要請に対し地域で取り組んだが、その後それほど日が経たないうちに、跡地に関する報道があり不満を感じている。

**答** 署名については、名寄と周辺地域の思いとして手渡してきている。再考に関しては厳しい対応であったが、「これまで工場が地域に愛されていたことに感謝する」との言葉もあった。これは署名の力であり、協力いただいたことに感謝する。

#### ◆ふうれん望湖台自然公園について

**問** 温泉施設が廃止されてからかなりの年数が経過している。公園維持管理については多額の費用を投じて継続されているが、実際にそれだけの価値があるのか。限られた予算を有効活用するための取捨選択が必要ではないか。議会の中でも検討いただきたい。

**答** 管理費は年間で約1,200万円程度となっている。管理のあり方については今後の課題とさせてもらいたい。また、望湖台には歌碑がある。あのままの場所に設置しておくことが望ましいのか、もっと人の目に触れる場所に移設するほうが良いのか、そういった議論も議会に出ている。

#### ◆風連地区の歴史民俗資料館について

**問** 収蔵物を北国博物館や風連中央小学校の図書館に置くことが決まったと聞いた。風連の歴史的な資料は風連に残しておくべきと思うが事実関係を知りたい。

**答** そういう事実はないと認識しており、今年度の予算措置もされている。今後の対応も含め内容を確認させていただく。

## A班－2 名寄東小学校 参加11人

#### ◆名寄社協指定居宅介護支援事業所の不正受給について

**問** 町内会の状況からも少子高齢化が進んでおり、これからの福祉施策は非常に重要だと感じている。これからサービスを受けることを考えると、不正受給の問題や

**監査などにしっかり対応してもらいたい。**

答 新聞記事掲載後、ただちに市民福祉常任委員会を開催し状況の報告を受けた。現状としては北海道からの指導を受けて、関係書類の精査を行っている。北海道や国の見解も含めて明確な結果が出ない限りは、具体的な判断ができない状況であるが、しっかりと対応していきたい。

問 事後の対応を北海道の指導のもと進めているようだが、問題を起こしたのは名寄社協。名寄市で精査し北海道へ報告するのが本来の流れではないか。また、結論はいつ頃出てくるのか。

答 居宅介護支援事業については、北海道から権限移譲されている事業であり、名寄市として精査している最中である。北海道とも協議をしつつ2月末頃には結論が出ると報告を受けている。

問 5年前までの調査をしていると認識しているが、5年以上過去にさかのぼっての調査も必要なのでは。表面化しているのは氷山の一角の可能性もある。また、ほかの事業所は大丈夫なのか。

答 時効があり5年までしかさかのぼれない。社協以外の事業所に入って内部調査をしている話は聞いていない。

問 社協の担当者の責任と処分はどうなっているのか。

答 昨年3月にそれぞれ自己退職している。

#### ◆JR北海道の問題について

問 JRの問題は住民の移動権に関わることであり重要な課題だ。分割民営化の歪が北海道だけではなく各所で現れてきている。道北の移動手段として鉄路を切られたら大問題である。市長が宗谷本線活性化推進協議会の会長をやっているのも、もう少し具体的に名寄市としての対応や考え方、今後の組み立てについて態度を表明してほしい。

答 加藤市長も宗谷本線活性化推進協議会の会長として頑張っている。JR宗谷本線は、旭川から稚内まで通っていることに大きな意義があり、存続させていくんだというところで議会とも認識は一致している。そういう認識のもと、様々な要請活動を展開したり、国あるいは道に向けても発信している。先般、市長とともに全国会議員に向けて、宗谷本線を含むJR北海道・地方公共交通の窮状をお知らせし、国政レベルで目を向けてほしい旨の行動を行っている。鉄道の持つ公共性と公益的機能を再認識しながら、維持存続を第一義に宗谷本線活性化推進協議会は進んでいる。

#### ◆名寄振興公社の問題について

問 裁判の進捗状況を教えてほしい。

答 振興公社は昨年8月に債権譲渡通知の相手方に対して、3件の提訴を起こしている。件名は「不当利得返還請求」「供託金還付請求権帰属確認」「債権譲渡登記抹消登記手続請求」となっている。相手側も東京で提訴しているが、旭川地方裁判所に裁判が統合され、1月28日に初公判が開かれる。また、公社の元社員の自販機からの窃盗については、12月20日に裁判が行われた。元社員は容疑を認めており、次回公判は2月17日に予定されている。また、振興公社の内部に、

専門知識を持つ外部委員も含めた検証委員会が設けられており、会計・経理、法令遵守や組織体制などの検証が行われ、改善に向けて動いている。

**問** 監査は粉飾を見過ごしていたことになる。その責任はどうなっているのか。

**答** 監査役は2名いるが、出された決算書などの財務諸表のチェックは行っていたが、細部にわたっての確認ができていなかったと聞いている。株主総会においても整然と整理された書類が提出され、違和感なく通過してきている状況。議会にも、表面上で整合性のとれた決算書が提出され、粉飾・改ざんを見出すことは難しかった。それぞれが出された決算関係の書類を信頼していたという状況であり、そこに問題があったと認識している。

#### ◆ピヤシリスキー場について

**問** スキー場に来ている利用者から振興公社の問題について尋ねられるがどう答えればよいか。いつ頃結論に至るのか。

**答** 冬季間の繁忙期を経た段階でどのくらいの収益になるかなど、将来展望も見えてくると思うので、行政側の判断は3月以降になってくると思われる。現在公社では、新社長を先頭に信頼回復に努めており、出すべき膿は全部出し切るという決意で経営改善に取り組んでいる。職員の意識改革も含め進んでいるということなので、もうしばらく待ってほしい。

#### ◆王子マテリア(株)名寄工場の問題について

**問** 従業員と家族、関係取引会社を含めると、莫大な人的影響があると思う。市もかわりながら関係する人たちの生活不安解消へのフォローアップを進めていくべきではないか。また、撤退した場合の、敷地の取り扱いや企業誘致などの情報があれば伺いたい。

**答** 王子本社にこの件に関する担当者が置かれることとなったので、様々な視点から協議を行っていく。また、27、000筆を超える署名を持って本社に赴いた効果があり、今後の対応については、出された意見要望に対して誠実に対応していくとのことであった。企業誘致の話も出てはいるが、現状では全く形になっていない。

#### ◆冬季スポーツ拠点化事業について

**問** 定例会の報告の中で、冬季スポーツ拠点化事業費が補正で減額となったのはなぜか。名寄市は、教育文化、スポーツのまち、これが大事だと思っている。

**答** 国の地方創生推進交付金の採択状況により減額となった。減額にはなっているがNスポーツコミッション等の事業に交付金が使われている。

#### ◆議会傍聴で感じたことについて

**問** 議員は傍聴者がいることも意識した態度で議会に臨んでほしい。ふんぞり返ったり、ヤジを飛ばすのは見ていて不快感がある。

**答** ご意見として受け止め、議員間で共有させていただく。

#### ◆フレイル予防について

**問** 市民福祉常任委員会が「フレイル予防」を委員会の課題としているようだが、フレイル予防対策など何かされているのか。

**答** 市民福祉常任委員会の今任期のテーマを、「高齢化社会における健康寿命の延伸

について」ということで、調査研究をしてきている。フレイル予防についても市の講演会などを通じた情報収集などを行っている。高齢になっても健康で、安心して生活ができるよう、勉強させていただくので、是非、いろんなご意見をいただきたいと思う。

## A班－3 駅前交流プラザ「よろーな」 参加28人

### ◆名寄振興公社の問題について

**問** 一定の方向性を見出すことを目的に特別委員会が設置されているが、従来からどのような問題があったのかを把握すべき。外部委員を含めた検証委員会が組織されているが、今後も長期的に対応し続けるのか、議論の経過をしっかりと公表してほしい。

**答** 冬季間の稼ぎ時を含めた今シーズンの状況を見た上で今後の対策についてさらに検討しなければならない。検証委員会においても適正な経理に厳しく目を向けるなど、複数のチェック体制が必要。そういった内容についても厳しく監視していかなければならない。

**問** 第3回定例会で提出された補助金5,000万円が取り下げられたが、第4回定例会で同額が提出されている。使途不明金や東京なよろ会、社会保険料の未納分が新聞報道されていたが、そのことも加味されているのか。5,000万円の根拠がわからない。

**答** 5,000万円については経営補助金という名目である。トータル的な公社の債務がかなり大きな額で、当面の資金不足を避けるための補助である。冬季スポーツの拠点でもあり、運営を継続する上での補助として採択した。

**問** 膿を出し切り再起に向けて取り組むという姿勢は正しいと考える。振興公社のさまざまな管理体制、経営体制、会社としてのガバナンスの問題を徹底的に質していくべき。また、債務が膨らんでいく原因を究明し、責任の所在も明らかになるよう精査をしながら方向を出して行く必要がある。温浴施設の天井が落下したが、施設整備についても、理事者側と整理をし、特別委員会として提言すべきである。特別委員会として市民の期待に応えるよう取り組んでほしい。

**答** 不明金などについて、公社の中で継続して調査中であり、公認会計士や市から派遣された職員が中心になって数字を洗い直し全容解明に向けて努力している。内容が明らかになれば市民の皆さんに伝えることができると思う。特別委員会の中でも持続可能な公社運営ができるかどうか見極めながら市民の皆さんにご相談をさせていただきたい。

**問** 公社の問題で責任を取ったのは社長1人だ。監査役と取締役になっている総務部長と経済部長に責任はないのか。市を退職して派遣されている2人には何の責任もないのに大変な思いをしている。上役の人たちが何の責任も取っていないことに納得がいかない。

**答** 各部長の責任問題と言うことだが、まず振興公社という会社組織の中での責任が明らかにされる必要があると考えており、処分については規定に照らし合わせて

行わなければならないと考える。

#### ◆ごみ焼却施設について

問 炭化センターの隣に古い焼却施設がそのまま残されている。古い施設をどのように考えているか。

答 旧清掃センターの焼却施設は現在小型家電リサイクルの受付などに利用されている。先月の議員協議会で焼却施設の建替え計画の説明があり、残っている焼却施設を解体し跡地利用するとのことであった。議会からは、老朽化施設の計画的な除却を市の方にも求めている。

#### ◆市立病院の会計窓口について

問 高齢者の方から名前を呼ばれても聞き取れないという話を伺った。電光掲示板などで番号表示するなど、視覚的に認識できる手法も必要ではないか。

答 ご意見として伺い、担当部署に内容を伝達する。

#### ◆公共施設のトイレの洋式化について

問 学校など、公共施設のトイレの洋式化は進んでいるのか。

答 スポーツセンターのトイレも洋式化された。さらに洋式化が進むよう議会としても働きかけていく。

#### ◆道路での喫煙について

問 市立病院や市立大学周辺の道路上での喫煙を目にするが見栄えが良くない。喫煙所を整備してはいかがか。

答 市立病院は敷地内全面禁煙となっており、敷地外で喫煙するしかない状況。ご意見として持ち帰り伝えていく。

#### ◆ピヤシリスキー場関連施設のカメムシについて

問 照明にカメムシがたくさん入っている。飲食する場所でもあり不衛生と考えるが対処できないか。

答 以前より問題となっているが、山間部でもあり解消されていない。有効な対策について検討したい。

#### ◆なよろ温泉サンプラーの接客について

問 温泉を利用する際、受付の女性からは挨拶があるが、管理者と見受けられる方から挨拶をされたことがない。客に対する接待マナーが不足している。団体客に対し他の温泉施設や市内の同業種ではきちっと挨拶がされているが、サンプラーの場合は一切声かけがない。従業員の接客態度に問題があるのではないか。

答 接客対応はサービス業の基本だと思う。貴重なご意見として受け止め、しっかりと解決するように結び付けたい。

#### ◆まちなかのベンチについて

問 6丁目通りなどの商店街にはベンチなどが設置され管理もされており、大変感謝している。しかし、他の場所だと休める場所がほとんど無く、児童公園や幼稚園のベンチ等を利用させてもらうことがある。高齢者が歩行する際に気軽に休憩できる場所があればありがたい。

答 市民福祉常任委員会の中でも、高齢化社会の中でどうやって住みよいまちづくりを進めていくか、健康長寿の延伸などについて検討している。行政とも協議し何かできることはないのか、そういうことも含めていつまでも住み続けられる地域づくりを目指していきたい。

#### ◆名寄社協指定居宅介護支援事業所の不正受給について

問 新聞報道では、不正受給額が5年間で1億円とされている。2月下旬頃に精査の結果を発表するとのことだが、市は情報を小出しにしているのではないか。また、今後どう対応していくのか。

答 新聞報道の翌日に緊急の常任委員会を開催し、市として10項目の指導を行ったと報告を受けた。現在、関係書類を市と北海道で精査しており、2月下旬に方向を出せるよう、北海道や厚生労働省の助言を受けながら取り組んでいる状況と聞いている。

#### ◆王子マテリア(株)名寄工場の問題について

意 存続を望む署名運動から間もない時期に、本会議のなかで跡地の再利用について議論するのは適切でないと考える。

問 給水用の配管が市の土地に入っていると思われるが、今後、配管の撤去が必要ではないか。

答 王子マテリアの工場敷地内は王子の所有する土地だと考える。撤退する場合については、地中の廃棄物の問題も含め、更地とし再利用可能な状況を求めていく必要があるのではないかという意見も出ている。

#### ◆行政の監督指導責任について

問 名寄振興公社と名寄社協指定居宅介護支援事業所に対しては行政の監督指導責任があると思うが、新聞報道など見ていると一部に他人事のような姿勢も感じる。議会の役割は、行政に対する監視、提言など、役割が重要だが、議論経過が市民に伝わってこない。どのような対応をされているのかお聞きしたい。

答 公社については市が最大の株主であり責任は大変重い。長期間の運営の中で、ずさんな体質が継続してきた結果だと思う。この機会に公社の経営そのものをしっかり見つめなおす、立て直すことから始めなければならない。健全な運営、長期的な視点で名寄市が維持していけるのか、ここも含めてこれからの議論の中で見極めていきたい。

問 名寄市には監督責任があり、とりわけ市の執行者の責任は重たい。公社や社協の問題をどう改善していくかを議論する際は、そこを重視してほしい。そういう視点で議会として執行者を質しているのか。

答 おっしゃる通り行政の責任はあると考える。社協の問題については、常任委員会でも未確定の部分があり、情報を小出しにするのは避け、全部整理できた段階で報告するとの発言があった。最終的に2月末に結論が出ると報告を受けているので、その段階で動きがあると思う。振興公社についても誰にどのような責任があるのか、まだ出ていないが、公社と社協の問題の執行者責任として市長と副市長の給与が減額されている。現場の責任は明確になっていないが、それぞれの組織体制もあり、そこで決まったことの報告を受けるといった仕組みのなかで直接関与できない面もあるが、しっかり対応していきたい。

#### ◆医療機関の再編統合問題について

問 医療機関の再編統合について政府の見解が示された。道北地域全体としても大きな課題と考えるが議会としての見解は。

答 全国的にも大きな問題であり、名寄市では地域医療構想の中で議論している。道北地域の医療が衰退しないようしっかり取り組んでいきたい。

#### ◆名寄市立大学について

問 旭川大学が市立化されることについて、旭川の理事長と名寄大学の誰かが何回か話をしているようだが、その内容が知りたい。

答 行政のトップと相手側が話し合いをしたことは聞いているが、旭川大学の学長と名寄大学で会談を行った話は聞いていない。

## B班－1 ノースタウンふれあい会館 参加18人

#### ◆福祉に対する市民意識について

問 福祉に対する地域住民の意識が気になっている。市で講演会をやっても同じ顔ぶれの高齢者の参加が多く、若い人や現役世代の参加が少ない。事業所や学校単位の少人数でもいいので、若い人たちが福祉の問題等に関わることができる環境づくりが大事である。市民福祉常任委員会の視察先での先進事例があれば教えてほしい。

答 道外の5か所を視察した。例えば、70歳を対象に同窓会的に集ってもらい介護施策等を理解してもらう。若い世代の認知症などの理解を深めるため、寸劇等により興味を持っていただくなどの事例があった。これからは、支える方の取り組みや名寄市立大学との連携も含め、若い人を巻き込んでいくことが課題。市民福祉常任委員会では、市の施策を精査するとともに、町内会の実体も調査しながら、安心して暮らせる地域づくりができるよう議論していきたい。

#### ◆名寄市立大学について

問 名寄市立大学には福祉系の4学部があり、800名近い学生と100名近い職員がおり、人材的、経済的に大きな財産となっている。学生が市民の姿を見て「福祉の充実したまちだな」と感じてもらえるよう、住んでいる私たちがそのことを自覚しながら、学生との暖かい関係を作っていかなければならないと感じる。町内会の行事等に学生さんにも参加してもらって友好を深めているが、それが当たり前の風景になるような関係性が理想だと思う。

答 旭川大学が名寄とほぼ同じ学部で2024年を目途に市立化することによって、学生確保の観点では当面の4年間が重要となる。名寄大学は国家試験合格率が非常に高く、誇りを持てる大学だと確信をしている。名寄大学の強みを生かし旭川大学との差を作りながら学生を確保していかなければならないし、大学と福祉のあり方を市民福祉並びに総務文教常任委員会でしっかりと考えていきたいと思う。

#### ◆委員会や議会における質問の方法について

問 名寄振興公社のあり方に関する特別委員会を傍聴しているが、単純な数字の確認

などは会議の場で質問するまでもなく、担当者に直接聞けばよいのではないか。一般質問でも同様の状況がある。無駄に時間をかけているだけではないか。

答 貴重なご意見として受け止めさせていただきたい。

#### ◆前回の意見交換会の回答への対応について

問 前回の意見交換会の内容を報告する議会だよりに、「名寄振興公社について、利用を控えるような風潮が広がっている。利用促進のアナウンスをすべきではないか」の問いに対し、「持ち帰らせもらい検討させていただきたい」と回答している。検討した結果はどうなっているか。また、特別委員会で現地確認をしてはいるが、議員それぞれが、名寄振興公社の管理する温泉などの状況について、直接足を運んで確認するなどしながら利用促進すべきではないか。

答 個別に確認はしていないが、特別委員会の現地視察とは別の機会に公社を訪れ現場の確認はしていると思う。天井落下の問題もあったが、安全が確保されていることは確認できているので、議員個々が安全であるというアナウンスをしている状況である。

#### ◆門口などの除雪について

問 門口除雪と消火栓の除雪を行政で進めてもらえるよう働きかけてほしい。

答 消火栓の除雪については消防に確認したい。除雪については経済建設常任委員会で前任期中の検討テーマとしてきているし、継続して委員会が所管する課題となるので、今後も検討させていただくとともに、市へもご意見を伝えていく。

問 門口除雪について、今のままでは除雪がネックとなり住み続けられない状況となってしまう。全て補助とは言わないが、前向きな姿勢を示していただきたい。生活に希望が持てるよう議会からも働きかけてほしい。

答 福祉を充実させ、安心してこの地で住み続けられるようなまちにしていくことが大切だと思う。そのことは、各常任委員会に共通する課題だと思うので、議会全体の課題として受け止めさせていただく。

#### ◆名寄駅前交差点の雪山について

問 駅前交差点の大通り側に雪山があり、駅に入る際見づらく危険だ。駅前の目立つ場所でもありイメージも悪い。市にも問い合わせているが、そのままになっている。

答 ご指摘の場所は道道と市道、JR敷地の交わる場所と思われる。いただいたご意見を踏まえた上で、所管の経済建設常任委員会で検討するとともに、市にも情報を伝達していく。

#### ◆合同墓について

問 昨年の意見交換会で合同墓の話が出た。その時の回答では前向きな対応がされる印象だったが、その後の進捗状況は。

答 市から合同墓に関するアンケート調査を実施した旨の報告があった。様々な意見があったとのことで、その内容を見極めながら検討を進めている段階であると聞いている。

#### ◆介護施設の人材不足について

問 介護施設の人材不足が心配である。介護施設があっても働く人がいないという現

実が進んでいる。外国人材の活用や人材育成を広域で検討していくことも必要ではないか。

答 官民間問わず人手不足により満床まで受け入れられない実態となっている。名寄市立大学は福祉系の人材を養成している。そのことも踏まえ、福祉が充実したまちがどうあるべきか考えていきたい。

意 介護職員の人材確保には待遇の改善が必要だと思う。国の施策も含めて後押ししていく必要がある。大学生が将来に希望が持てる環境を作っていかなければならない。そういうことについて議員各位にも訴えていただきたい。

## B班－２ 智恵文多目的研修センター 参加１１人

### ◆名寄振興公社の問題について

問 名寄振興公社補助金可決にともなう６項目の附帯決議の内容は。

答 ①補助金の趣旨にのっとり、経営改善のみに充当させること。②収支計画に基づき、最大の経営努力を求めること。③これまで投入してきた委託料等の効果を十分得るためにも、経営改善を求めるとともに、施設面を含め、将来的な見通しを明確にすること。④使途不明金等の内容を早期に明らかにすること。⑤今後の公金投入は極力抑え、市民への説明責任を果たすこと。⑥第３セクターの位置づけを明確にするとともに、ガバナンスの強化と透明性の向上を図ること。この６項目を議長名で附帯決議を付けての可決となった。

問 名寄振興公社は設置後歴史も古いですが、その当時からある規約、就労者の待遇など、時代に合わせた見直しも含めて協議を行ってほしい。

答 名寄振興公社のあり方に関する特別委員会は、事件性を追求するのではなく、振興公社の経営形態、施設整備、振興公社のあり方について議論を行っている。同じことを繰り返さないよう所管の経済建設常任委員会も含め対応したい。

問 今までの対応を見ると、人任せや部下任せになっており、公務員にありがちな縦割りの悪いところが出ているように感じる。市がきちっと法令を遵守していくことが重要。公社の存続に毎年費用がかかるのであれば、民間に任せたほうがいいのかも。そして、その財源を別の施策に回してはどうか。そういうことも議員の皆さんに考えてほしい。

答 名寄振興公社は、名寄市の施策を推進する上で重要な役割を担っているが、組織内でのコンプライアンス、ガバナンスが守られていなかった。その現状を把握するために、特別委員会で２回の参考人召致を行った。また、調査が進んでおらず仮に民間に経営を任すにしても、状況が整っていない。まずはスタート台に立てる状況を作っていく段階である事を理解願いたい。また、去年は名寄市で大きな出来事があったが、議会は行政のチェック機能を持っており、二元代表制の立場で、市民への説明を含め強い姿勢で今後も取り組んで行く。

問 長年公社で働いていた。施設を運営する上で大事だと思ったのは、安全安心を提供すること。施設が老朽化しておりそこに不安がある。安全を提供するためにも施設改修の対応をしていただきたい。それなしには従業員も安心して働けない。

答 施設の改修は市で実施していくこととなるが財政的な課題がある。今年から温泉改修の実施設計に入る予定だったが、不正の発覚により頓挫している。今後のあり方は特別委員会でも検討しているが、リフトを更新する場合、億単位の財源が必要となるので、年次的な対応が必要と考える。市としても業務の取捨選択をしながらスリム化し、従業員の負担を減らしていくことが大切。

問 従業員は命を預かりながらリフトを運行している。安全を最優先で進めてほしい。

答 今年の第4 ロマンズリフト停止も、人員不足に配慮し、安全安心を第一とした判断だと思う。従業員の思いも含めて、皆さんが共通認識を持って働けるような職場環境を求めていきたい。

問 温泉施設に魅力がない。何か手を打たないと黒字化は難しいのではないか。

答 何らかの魅力を持たせ、市民の皆さんが行きたくなるような施設となるようにしていかなければならない。また、外部から来ている企画営業部長からは、冬季も大切だが、夏場の利用促進に向けても、名寄の財産や資源を活用したプログラムを作る事により、学校や団体の集客誘致が不可能ではないと言われているので、そのことについての話もしていきたい。また、新社長が就任されてから、セクション別の意思疎通に向けて、話し合いがもたれている。現状把握とともに今後の対応に向けては、外部委員並びに市の派遣職員が積極的に対応している。

問 近隣の温泉施設と比較すると、食事及びおもてなしの対応が良くない。

答 市民の皆さんを含め様々な意見が寄せられている。議会としても受け止め、名寄市民のための振興公社にしていくような努力をしていかなければならない。特別委員会と経済建設常任委員会を含め、議会としてしっかりチェックしていきたい。

#### ◆常任委員会の視察について

問 常任委員会で視察を行っているが、名寄市は合併以降毎年300人程度人口が減少している。都会の視察だけではなく、過疎地の視察なども行うべきではないか。

答 常任委員会の視察は、各委員会で今後の施策に関わるテーマを設定し、課題解決の参考にすることを意識するとともに、名寄市と同程度の人口規模の自治体を視察先として選定している。

#### ◆ゴミの不法投棄について

問 毎年、春先になると決まった場所にゴミが捨てられている。ゴミ捨て禁止の看板を設置できないか。

答 現状を把握した上で、どのような方法が有効なのか、行政と相談していきたい。

問 以前は道の駅でもゴミを回収していた。コストや場所の問題もあると思うが、逆にゴミを捨てられる場所を用意することで交流人口も増えるのではないか。

答 ゴミを捨てられる環境を作ることにはリスクもあるが、一つの方策でもある。貴重な意見として受け止め、行政とも協議していきたい。

#### ◆智恵文地区への光回線について

問 智恵文には光回線がない。NTTに確認したが将来的にも光回線が来ないと言われている。これからの学校教育に必要なインターネット環境に地域格差があっていいのか。王子マテリア跡地に情報基地などの設置はできないものか。その流れで5Gのアンテナの建設もされることを期待する。

答 光回線は先進的な情報収集をするには必要なインフラであるが、コストの問題もあり厳しい状況にある。智恵文の学校改修も課題だが、コンピューター教育をする際に情報格差があることは今後の課題となる。王子マテリア跡地の活用も今後の検討課題である。

#### ◆無人駅の廃止について

問 名寄市内の無人駅が3か所廃止になるとの報道があったが、智北駅は現在学生が利用しているし、将来的にも利用の見通しがあるので考えてほしい。

答 昨年末にJR北海道に宗谷本線特急の増便とダイヤ改正の要請を行った。その時には新たな投資よりもコスト削減に向けた無人駅の廃止が優先であると言われている。但し名寄市長は廃止がOKとの返事はしていない。議会側にも正式な連絡はなく、具体的な話があった時にしっかり議論していきたい。

## B班－3 名寄市民文化センター 参加13人

#### ◆常任委員会の視察と諸問題の関係について

問 名寄社協指定居宅介護支援事業所の不正受給、王子マテリア(株)名寄工場生産品集約、名寄振興公社の不正経理問題という大きな3つの課題がある中、行政視察をしている時間があるなら、課題解決に対して時間を使うべきではないか。また、市長の対応が遅いことに対し議会としてもっと追求すべき。

答 視察については、各常任委員会が持っている年間テーマに沿って行っており、市民の皆さんの生活や名寄市の市政運営に関わる重要な視察だととらえ実施させていただいている。王子マテリアの課題については、民間企業の情報統制もあり、突然の出来事であったが、市の対策本部に議長も加わり早急に対応している。振興公社については特別委員会を設置し、あり方について検討しているが、天井の落下、窃盗事件、市町村職員共済組合利用助成券の不適切な利用などの問題も次々と明らかになり、全容解明には至っておらず、まだまだ先が見えないのが実態である。社協の不正受給の件もまだ全体像が見えてきていない。公社と社協の問題の引責として市長が30%3か月給与カット、同様に副市長が15%のカットをしている。このことは過去に例のない対応である。

#### ◆名寄振興公社の問題について

問 議会は市民の代弁者であり、行政の監視役である。平成25年度に、市から名寄振興公社に対する、約2,700万円の経営安定補助金を議会が認めた上で入れている。その後の経済建設常任委員会では今後の赤字も想定していたように記憶しているが、監視ができていなかったのではないかと。継続して赤字体質が続くのなら存続ありきではなく、ゼロベースで考えるべき。スキー場は唯一の観光事業であり存続が必要かもしれないが、温泉とは分離して考えられないか。赤字の補填財源を使ってまちなかに温浴施設を作ればいいのではないかと。

答 現在特別委員会で議論を進めている最中だが、第4回定例会に提案された5千万円は、現在、行政で進めている施策を止めることはできないことから認めてきた。公社は平成25年度の2,700万円の補助後から新たなスタートを切ったという認識を持っていたが、本年5月31日の指定管理料債権譲渡通知により初めて

資金繰りが厳しいことが発覚した。その後の調査において、経理や会計処理などの事務処理が極めてずさんだったことが判明している。議会には6月議会に決算報告書と事業計画書が出されるが、黒字で報告がされており、読み切れなかったのが実情である。ゼロベースということも話は出ているが、中身の精査がしきれておらず、現状はゼロベースに持っていくまでに至っていないことをご理解いただきたい。

**問** 黒字で報告されていたということは、文書の改ざんがあったということであり、法的にも逸脱している。そこを議会として追及すべきではないか。

**答** そういったことを追求するために特別委員会を作っている。状況が明らかになった時には、責任がどこにあるのかを議会として求めていかなければならない。現在そこも含めて調査をしているということをご理解いただきたい。決算報告書などについては、市から報告がされるが、作成したのはあくまでも名寄振興公社であり、市は携わっていない。

**問** 組織体制、経営体制の刷新とあるが、具体的に教えてほしい。

**答** 10月28日に社長が交代をして、橋本副市長が社長に就任している。副市長業務との兼務だが、現状分析をしっかりと精査をしながら進めていくということで、今の段階では他の人選は難しい状況である。公社の検証委員会ができていて、その中で公認会計士や弁護士、また、第3セクターの再生実績のある専門家が企画営業部長として入っている。市から派遣されている職員も2名おり、総務事務を担当しながら組織全体の体制づくりを行い、各セクションの連携を図っている。

#### ◆中心市街地活性化と南広場の活用について

**問** 選挙時の公約で商店街の活性化があげられていたが具体的に見えてこない。もっと発信してほしい。南広場を雪まつりに使っているが、まち場を活性化させるためには、図書館や子どもの遊び場など、様々な活用策があるのではないか。

**答** 先日、経済建設常任委員会と商工会議所で中心市街地や商店街の実情について意見交換を行った。言われていたのは、市に対して、商工業の振興基本計画をしっかりと作ってくれと要望しているが、進展がないとの話があった。南広場の利活用も含めて、中心市街地をどう活性化するかについて、先般示された立地適正化計画との整合性も図りつつ所管の経済建設常任委員会で議論していきたい。また、行政との意思疎通を図るとともに商店街関係者とも共通認識を持ちながら進めていきたい。

**問** 南広場は避難場所にもなっており重要な場所だ。あそこは何のための広場か、なぜ今まで残っているのかを考えてほしい。市の考えはどんどん変わっていく。また箱モノを作るのか。市民の意見に流されることなく、議会を含めきちっと検討することが必要。

**答** 南広場の使い道は決まっていないが、中心市街地の活性化のために活用することは、一つの方策として考えられる。利用方法には様々な意見があると思うが、議会として、市民意見を受け止めながら議論を深めていきたいと思うのでご理解いただきたい。

#### ◆都市計画審議会について

**問** 都市計画マスタープランなどを含め、今後のあり方が議論されているが、大きい計画を作ることより、現実的にやれることからやってほしい。

答 計画の実効性を持たせるためにどういう施策を実施するのが重要。少しでも計画が現実のものとなるように、関係者の皆さんの声を反映していくことも大事になる。所管の経済建設常任委員会としても、貴重なご意見として受け止めさせていただく。

#### ◆王子マテリア(株)名寄工場の問題について

問 撤退すると敷地の空洞化が懸念される。また、更地にした場合に公害の心配はないのか。固定資産税の減や関連会社を含めた影響を受ける人数の試算は。

答 固定資産税の減収は1億4千万円程度と聞いている。また、敷地内の最終処分場についても適正に処理されており問題ない。従業員数は子会社2社を含めると198人。今回の提案は、名寄市だけでなく周辺にも大きな影響があり、今後どうしていくのかという条件闘争も重要になってくる。

問 王子マテリアの施設や敷地を活用し、再生エネルギーの拠点を作ることができないか。議会でも検討いただきたい。

答 王子ホールディングスからは、「提案をいただければ」ということが言われている。市としては、対策本部で今後の取り組みを検討中だが、再考が無理ならば条件闘争をしていくことになる。名寄市は交通の要衝であり東西南北に道路が続いているので、何らかの拠点化を含めていろんな方策が出てくると思う。また、名寄市の経済を考えたときに、新たなものを創造していかなければ、まちが衰退していくのは目に見えていることであり、対策本部と議会を含めて動向を見ながら対応を考えて行きたい。

#### ◆弥生地区への光回線拡大について

問 曙を越えて西風連まで光回線の工事が始まったと聞いている。何とか拡大して弥生地区にも広げてほしい。

答 智恵文でも同じ意見があった。智恵文では、行政ではなく直接NTTに地域として要望を出した際に、費用対効果により無理だとはっきり言われているが、ICT農業というものが進行していくなかで、5Gの環境も含めて、そういう可能性も探っていくべきとの意見もいただいた。行政側だけでなく、地域としてそういうことを考えていけるような工夫も検討していきたい。

## 令和元年度（第2回）「市民との意見交換会」アンケート結果

ご回答いただきましたアンケートの集約結果は次のとおりです。また、ご回答いただいた市民の皆様は91人で、回答率は89.2%となっています。

※（ ）の数字は回答者数です。

問1 あなたの年齢は？

①20代（1人） ②30代（3人） ③40代（7人） ④50代（5人）  
⑤60代（30人） ⑥70代以上（43人） 未回答（2人）

問2 あなたの性別は？

男（72人） 女（16人） 未回答（3人）

問3 今回を含め、これまでに『市民との意見交換会』及び『議会報告会』に何回出席したことがありますか？

①初めて（25人） ②2回（17人） ③3回（16人） ④4回（11人）  
⑤5回以上（21人） 未回答（1人）

問4 今回の『市民との意見交換会』の内容はどうでしたか？

（全体的に）①よかった（31人） ②ふつう（35人） ③よくなかった（2人）  
未回答（23人）

（報告内容は）①わかりやすかった（20人） ②ふつう（44人）

③わかりづらかった（2人） 未回答（25人）

（意見交換内容は）①よかった（29人） ②ふつう（33人） ③よくなかった（3人）  
未回答（26人）

※今後、市民との意見交換会について改善すべきことがあればお書きください。

- ・意見交換は初めてだったが必要だと感じた。開催日程等広く告知してほしい。
- ・何か一つこれが理解が出来たと思う様な交換会であってほしい。
- ・もっと女性の参加を呼びかけ何でも話せたらいいと思う。
- ・問題が山積みな名寄市だが、意見交換会の場が今まで以上に大切だ。
- ・市民が意見をしているのに対して、予定じゃなく完結に回答してほしい。
- ・議会で意見の前座を作るのではなく、参加する町内会長に資料を先に送り町内会で困っている案件をファックスで議会へ送ることをしてほしい。
- ・夜間を避けた時間設定が有難く思った。大きな問題や参考になる話が多く問題点の具体化への道が少し開けた感じがあった。
- ・議員の一生懸命な姿が見れて感動的だ。市民との雑談の中の話題にも気遣い、取り合ってくれた姿勢が有効な活動に見える。
- ・現状より、市民の多くが参加できる方策を検討する必要があると思う。（2件）
- ・問題の多い中、1時間半の設定では足りない。
- ・あらかじめ文章で提出も可能になれば、意見を出す方も話がまとまり短縮されるのではないかと思う。
- ・マイクの音声が悪い。よく聞き取れない。
- ・市民はみんな出てこないといけない。
- ・題材が厳しいものだったのでご苦労さまでした。回答の内容についても立派な対応だった。
- ・若い人の参加が少ないので、若い世代の意見交換等出来るような工夫があればいいと思う。

問5 議会だよりはお読みになりますか？

①毎回読んでいる（55人） ②たまに読んでいる（30人） ③読まない（5人）  
未回答（1人）

問6 議会ホームページはご覧になりますか？

①よく見ている（10人） ②たまに見ている（31人）  
③まったく見ない（24人） ④見方がわからない（4人）  
⑤見る手段がない（17人） 未回答（5人）

問7 議会中継（同時中継、録画中継を含め）はご覧になったことがありますか？

①よく見ている（9人） ②たまに見ている（26人） ③まったく見ない（31人）  
④見方がわからない（2人） ⑤見る手段がない（20人） 未回答（3人）

問8 議会を傍聴したことがありますか？

①傍聴したことがある（46人）（平均3回程度）  
②傍聴したことがない（42人） 未回答（3人）

問9 議会に対してご意見等があれば、自由にお書きください。

- ・振興公社の件については、焦らずじっくりやって下さい。監査は確かに甘い。
- ・王子マテリアの件は、撤退後の跡地利用に議題をシフトするべき。特に「更地にする費用は王子マテリアが持つ」これは絶対かと思う。
- ・議会中継のユーチューブはさすがに多少必要に応じてカットするべき。特に開始までの一切動きのない部分。あと、画質が悪いのでカメラの更新を。
- ・市民の代表としてもっと市民の立場に立って活動してほしい。振興公社の在り方、誰のために一体どの位補助するのか、止める勇気も必要ではないか。
- ・録画中継が見づらく関心のあるものを選んで見れると嬉しい。
- ・機会があれば次回も出席したいと思う。
- ・大きな問題が3つ存在しているが、とにかく市全体としてプラスになっていくように市民も含めて将来に向けて考えていくべきだと思う。
- ・議員も大変だろうが、もっと目を開いて頑張してほしい。
- ・アライグマについて名寄の街中の繁華街にいた目撃情報があった。
- ・市民の意見をよく聴き高齢者の意見を取り上げてほしい。
- ・今後の不正をしっかりと改善すること。それを市民からの税で賄うのは違うと思う。
- ・もっと目の前の事を議題に付して一つでも解決してほしい。今はそれが出来ていない。何のために議員がいるかをもう一度考えてほしい。地域が悪くなる一方だと思う。
- ・議員は足で稼いで。単純な数字的なものは即時に調べる。または聞き取りをしておく。その数字に疑問があれば質問するべきだ。
- ・良かった。ご苦労様でした。
- ・これからも市民一人ひとりと共通認識に立てるようご活躍ください。
- ・門口除雪で地域住民が困っている。門口に除雪車が雪を置いていかないように行政を指導してほしい。
- ・王子マテリアの件については、移動して減るであろう人口や年齢分布、それが名寄市経済に与える影響をしっかりと試算してほしい。
- ・若い議員がそれぞれ勉強し取り組んでいると少し感じた。
- ・2年後王子マテリアの撤退による名寄市の衰退を最小限にする活動を提案してほしい。
- ・議会の傍聴で感じるが、台風等で「お見舞い申し上げます」等の言葉を述べているが、議長が代表して各議員の代弁でいいと思う。質疑応答に時間を設けてほしい。
- ・振興公社問題は簡単なことではないと思うが、前社長の記者会見もなく、退けば無罪放免とはおかしい。取締役、監査役、株主等の責任はどうなっているのか。わからないことばかりで解決策は遠い。
- ・振興公社の社長が、副市長から副市長になったのが市民として納得いかない。
- ・東風連駅の高校前の移設は東風連地区住民に話をしたのか。
- ・雑誌はゴミなのではないか。王子マテリアがなくなったら使ってくれる会社はあるのか。
- ・今回初めて来たが、真摯に受け止めて頂いていると感じた。また機会があれば参加したい。
- ・議会改革（定数）の特別委員会をもっていたが、去年は選挙とは言え無風の心配が残る状況だ。定数、なり手等の課題への継続的な検討をすべきだ。
- ・名寄市の人口減、高齢化や少子化もあるが子どもたちが名寄にとどまる状況をどう作るか。また、雪の問題もある。これを克服すべきだ。高齢になると除雪が大変で名寄から転出する方が多い。
- ・市として（市民を含めて）アンテナが低い。もっと緊張感を持って全ての面で速度を高めて進むべきだと思う。